

西中だより

平成28年度 No.19
平成28年10月28日
須賀川市立西袋中学校
発行責任者 鶴巻 弘士

&&& 思い出に残った文化祭 &&& ・・各部門の感動的な場面を写真等で紹介します・・



＃＄＃ P T A役員による出店と保護者の皆様のご協力に感謝いたします！ ＃＄＃

- 昨年に引き続き、今年もP T A役員とお手伝いできる保護者の皆様で、出店を行っていただきました。昨年と変わった点は、希望する生徒達に事前に注文を取り、焼きそばやフランクフルト等を食べてもらったことでした。笹木先生と教頭先生を中心に、生徒の注文を事前に取りまとめ、名越前P T A会長と矢吹P T A会長さん、松岡体文会長さんを中心に材料や器具の準備をし、役割分担を確認しながら当日を迎えました。・・・皆様の温かいご支援ご協力に感謝いたします。なお、売り上げ等については、後日文書でお知らせいたします。

《 校長のつぶやき 》・・・ 文化祭を終えて思うこと ・・・・

- 今年も晴天に恵まれた文化祭でした。前日の夕方まで、生徒と先生が一緒になって会場を作成し、各学年の作品を展示していました。その光景は、一丸となって文化祭を成功させようとする意気込みが感じられました。
- 文化祭当日までは清水先生の進行計画に従い、実行委員を中心としながら、全校で準備を進めて来ました。また、学年で選出された主張発表者は、連日放課後練習に励んでいました。各学級では恒例の合唱コンクールに向けて、早朝から学級毎に練習に取り組んでいました。
- このように、文化祭という大きな目標に向かって、計画を立て、練習して取り組むという一連の活動には、生徒一人一人が友達や自分が持つ能力に気付き、発揮し合う素晴らしい機会であると思います。一学期に行なった校内陸上大会以来の盛り上がりでした。
- 今、生活の変化に伴い、生徒が自分の能力を発揮する場が減ってきています。せっかく身に付けた能力も発揮する機会と活用する場がなければ、生きる力にはなりません。更に大切なのが、それを認めて、称賛（評価）することなのです。例えば、「落ち葉を掃いてください」「部屋の掃除を頼むよ」と生徒に依頼して、終わってから「綺麗になったね」「ありがとう、助かるな」という感謝の気持ちを込めた一言が、やる気と自信を与えるのです。生徒の可能性と能力は無限です。それを伸ばすかどうかは、学校や家庭を含めた我々周囲の責任でもあります。職場体験を行った生徒の感想文には、「一生懸命取り組んだことに対する称賛のことばで勇気づけられたこと」が書かれていました。最後に、生徒達には、文化祭に取り組んだ経験を、今後の自分の成長に必ず生かしてくれることを心から願います。